

計画のめざすもの

子どもの自主的な読書活動の推進

子どもが自ら進んで読書活動に親しみ、読書習慣を身に付けていけるよう、子どもの興味・関心を尊重しながら、自主的な読書活動や読書習慣の定着を促すために読書活動を推進します。

家庭、地域、図書館、学校等の連携

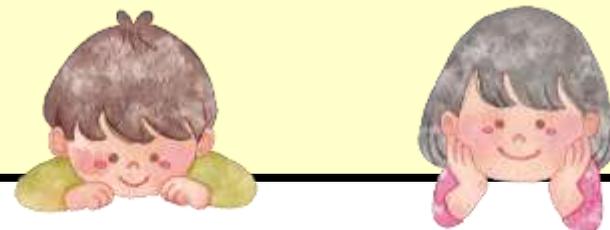
子どもが読書の楽しさや意義を知り、生涯にわたる読書習慣を身に付けるため、家庭、地域、図書館、学校等がそれぞれの役割を果たし、それぞれが連携し、相互に協力して子どもの読書活動のための取組を推進します。

子どもが読書に親しむ環境の整備・充実

子どもがあらゆる機会と場所で、自ら進んで読書体験を深めることができる環境づくりに努めます。

子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

子どもを取り巻く大人たちが、子どもの読書活動に対して理解や関心が持てるよう、さまざまな機会を通じて、読書活動が果たす役割や意義、重要性について広く普及・啓発を図るよう努めます。



ほくと 子ども読書の杜プラン

－第四次北杜市子ども読書活動推進計画－

(令和7年度～令和11年度)

幼いころの「本の世界との出会い」や、その後の「読書習慣」は、子どもたちの夢の実現や、たくましく生きる力を育むなど、大きな役割を担っています。

この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年12月公布・施行)に基づき、子どもたちが、たくましく、しなやかな心で、輝かしい未来を切り拓いていくことを願いながら、北杜市のすべての子どもたちが、家庭、地域、図書館、学校等で自ら本との出会いを求め、継続した読書習慣が身に付くよう策定しました。



北杜市教育委員会



ほくと 子ども読書の杜プラン (ダイジェスト版)
－第四次北杜市子ども読書活動推進計画－

令和7年3月策定

発行・編集・問合せ先：北杜市役所 教育部 中央図書館
〒409-1502 山梨県北杜市大泉町谷戸 3000
電話 0551-42-1374 FAX 0551-38-1126
ホームページ <https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/>

計画の詳しい内容につきましては、北杜市ホームページまたは市内各図書館でご覧いただけます。



ほくと 子ども読書の杜プラン

—第四次北杜市子ども読書活動推進計画—



家庭
地域

学校

～たくましく、しなやかな心で、輝かしい未来を切り拓くために～

- ・本の貸出しやイベントへの参加をとおして図書館を積極的に利用します。
- ・「家読の日」を設定し、家族で読書の時間を持つよう努めます。
- ・ブックスタートの絵本を活用し、子どもへの語りかけや読み聞かせを実践します。
- ・児童館など学校以外の地域の活動場所での読書活動を推進します。

- ・図書館利用のためのオリエンテーションを実施します。
- ・「朝読」の推進や読み聞かせ、ブックトーク等の充実を図ります。
- ・調べ学習のための支援を行います。
- ・子どもの意見を取り入れた学校図書館の運営に取り組みます。
- ・読書活動や学習活動の拠点として、蔵書の充実を図ります。
- ・デジタル社会に対応した読書環境の整備を行います。
- ・市立図書館と連携して、読書マラソンや団体貸出しを実施し、読書への興味が増すよう努めます。

市立
図書館

- ・子どもたちの知的好奇心に応えられるよう、図書館資料の充実を図ります。
- ・「ブックスタート事業」や「おはなし会」等、乳幼児期から本に親しむ事業に取り組みます。
- ・学校や学校図書館、保育施設等と連携を密にし、読書活動を支援します。
- ・子どもの主体的な活動を取り入れたイベントや、職場体験の受け入れを行います。
- ・障がいのある子どもや、日本語能力に応じた支援を必要とする子どもへの読書活動を支援します。
- ・デジタル社会に対応した読書環境の整備を行います。
- ・図書館情報誌やおすすめ本リストを作成し、情報発信に努めます。
- ・ボランティアに対し、研修や活動場所を提供します。
- ・地域団体や市役所各部局、関係機関等と連携し、活動を推進します。

それぞれの
取組と連携で

子どもたちが
自らの力で読書活動を行い、
生涯にわたる
読書習慣を育む

ボラン
ティア

- ・市立図書館との協働によるイベントを開催します。
- ・市立図書館事業への協力を行います。
- ・地域や保育施設・学校・図書館での読み聞かせ等への協力をし、子どもの読書活動を推進します。

保育
施設

- ・市立図書館職員、図書館ボランティアや保護者等と連携し、読み聞かせの充実を図ります。
- ・市立図書館で行う団体貸出しを活用して、多くの本に触れる機会を作ります。
- ・市立図書館と連携しておすすめ本リストを配布するとともに、読み聞かせの意義を保護者に広く啓発し、家庭における読み聞かせの推進を図ります。